NIE実践報告

1．タイトル　情報が結ぶ世界「情報をつくる、情報を生かす」

2．学校名

神奈川県横浜市立六つ川台小学校

3．実践者名（代表者名）

奥野 博也

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　25人

6．単元（本時の学習課題）名

情報が結ぶ世界「情報をつくる、情報を生かす」

7．目標(狙い)

情報媒体としての新聞の価値や新聞記者の努力について、新聞や新聞記者の話から考えて、発言したり言葉で書き表したりすることができる。

8．評価の視点

新聞に親しむ中で、情報媒体としての新聞について学習していきたい疑問をもち、そのことを意欲的に調べ、分かったことを自分なりに表現することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「情報をつくる」14時間
「情報を生かす」(教科書教材:光村図書)5時間　　合計19時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「情報」と聞いてイメージすることを話し合う。（2時間）
②新聞の記事を読み比べてみる。（2時間）
③新聞ができるまでを調べる。（5時間）
④新聞記者の方の話を聞いて記者の仕事について考える。（2時間）
⑤新聞の役割について考える。（3時間）

（留意点）
・新聞以外の情報媒体についても取り上げ、媒体ごとに特徴があることに気づき、共通点や相違点を調べるなかで新聞の良さや役割について考えるようにする。
・新聞を読んで、情報をわかりやすく伝えるための工夫を見つけ、新聞記者に聞いて学ぶ視点をもたせる。
・新聞記者の方の話や新聞博物館での新聞作成体験から新聞の役割についてまとめられるようにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞について親しみをもつことができた。学習後も新聞に興味を示していた。記者の方の話によって、記者の仕事の内容について知り、苦労や工夫について考えることができた。

12．成果と課題

様々な新聞社の新聞を比較することで、新聞社によって取り上げ方が違う点などの疑問が子どもたちから出て、学習を広げていくことができた。また、資料として何度も手にとって確認することができた点も有用であった。何度も読み直せることや自分の興味のあるところから読めるという教材としての新聞の良さは、情報媒体であるの新聞の良さと通じるところがある。その良さを十分に理解できるような工夫をすべきであった点で課題が残る。